

研究課題番号	1-1702
研究課題名	放射性 Cs や Sr で汚染された廃棄物の中間貯蔵と最終処分のための安定化技術に関する研究
研究実施期間	平成 29 年度～令和元年度
累計予算額	98,276 千円
研究機関名	京都大学
研究代表者名	米田 稔

1. 評価者の指摘及び提言概要

土壌や土壌混合焼却灰からの Cs 溶出量の予測について、理論的、実験的な検討を通して実用に供する成果を得た。中でも、Cs や Sr の溶出に係る論及の多くが理論的考察となっている状況において、福島再生に欠かせない Cs の中間処理や最終保管の技術の過程での溶出に関して計算値と実測値との一致範囲を求めた所などは注目すべき成果である。ジオポリマー法が最終処分法の一つの選択肢となることについても評価する。惜しむらくは、ジオポリマーを使った実験研究と Cs の溶出論の間をつなぐ論理に関して、研究報告書の中では多く「であろう。」という推論となっていることである。

環境行政ニーズという観点からすれば、減容化、長期固定化できるものでなければならぬが、ジオポリマー法でこの点をクリアできるのか。実用に向けての展開の筋道とそこでの課題の解決の見通しを俯瞰すべきである。

2. 評点

総合評点：A